

生涯学習だより



実心～「実りが育む【あき】……実りに感謝」

～かみしほろの健やかな育ち～

年間テーマ 「かみしほろの地域力を見つめ直す」

第21回生涯学習ラリー ～地域の力を結集し盛大に実施～

- ◆ 午前十時から午後三時までの間、生涯学習センターの全館を会場に行いました。
- ◆ ひとつの体験コーナーは、始まりから終わりまで三十分間として、それぞれのコーナーで体験し終えるとポイントがもらえます。そのポイントをたくさん集めて各賞の景品と交換できるというシステムになっています。今年は、二十二の体験コーナーでした。
- ◆ 今年は、優秀賞九ポイント、博士賞十二ポイント、ノーベル賞十五ポイントと設定し、優秀賞三十八名、博士賞二十五名、ノーベル賞二十五名でした（参加者総数四十五名）。
- ◆ 体験コーナーで指導を行うのは、全て地域の方々（企業・団体・個人）です。
- ◆ 子どもたちは、自分が体験したいコーナーや集めるポイントの計算を含めて、全て自分の力で時間割を考え、その時間割に沿って各体験コーナーを回ります。

十月十三日（土）、上士幌町生涯学習フェスティバル実行委員会（山田忠雄委員長）が主催団体となり、第二十一回生涯学習ラリーが開催されました。生涯学習ラリーとは、町内の小学生及び中学生を対象とした事業で、概要は下記のとおりです。

～それぞれの体験コーナー～

今年度もたくさんのご協力をいただき、22の体験コーナーを子どもたちに提供することができます。それぞれの体験コーナーについては下記のとおりです。

- | | | |
|------------------|------------------|--------------------------|
| 1. 生き物研究室 | 9. 絵手紙づくり | 17. 絵本読み聞かせ |
| 2. レスキュー体験コーナー | 10. スライムづくり | 18. 文化体験（将棋） |
| 3. 卓球体験 | 11. 英語で遊ぼう！ | 19. 農業体験（バターづくり） |
| 4. 川柳にチャレンジ！ | 12. わくわく理科実験！ | 20. 健康クッキング
(ラッシーづくり) |
| 5. でんげん展（発電機づくり） | 13. 紙飛行機づくり | 21. アニメ上映会 |
| 6. フロアカーリング体験 | 14. 装飾品づくり（ミサンガ） | 22. 遊び場（大道芸体験） |
| 7. 自然工作体験 | 15. ありがみ体験 | |
| 8. むかし遊び体験 | 16. 遊びリンピック | |



装飾品づくり



紙飛行機づくり



健康クッキング



生き物研究室

“地域力”にスポットライト！

第21回生涯学習ラリーにご協力をいただいた企業・団体・個人にスポットライトを当て、今回は、「でんげん展」を担当した株式会社電源開発上士幌電力所、「むかし遊び体験」を担当した上士幌町シルバー学級生、「スライムづくり」を担当した上士幌高等学校をご紹介したいと思います。



「でんげん展の様子」

～専門的な知識を活かし、地域の学習の幅を広げる～

(株)電源開発上士幌電力所は、東日本大震災後から、節電という言葉が飛び交う中、「でんげん展」という「節電」をテーマにした体験コーナーを担当して下さいました。

電気ができる仕組みや上士幌町の水力発電所の仕組みについて学習をした後、発電機の模型を作りました。

また、最後にクイズ形式のプリントを用いて復習し、理解を深めました。

活動後、(株)電源開発上士幌電力所の担当者は、「今後も専門的な知識を活かし、それをわかりやすく提供し、地域にもつともっと貢献していきたい」と話して下さいました。

～シルバーの力を地域に還元！～



「むかし遊びの様子」

上士幌町シルバー学級は、「生きがいのある日常生活を送るため、主体的に学び続け、地域で活躍する高齢者をめざす」という目的で健康、趣味、社会活動、仲間づくりなど、身近な問題について毎月学んでいます。

「昔遊び体験」のコーナーでは、上士幌町シルバー学級の吉田恵美子さん、服部千津子さん、村尾紀子さんの三人が、「お手玉」や「おはじき」、「あやとり」など、昔懐かしい遊びを教えて下さいました。三人は、「今の子どもの方が昔の遊びを知つていて驚いた」「昔の遊びを思い出しながら、自分自身も楽しめた」などと感想を話して下さいました。

今後も地域での様々な活動で、シルバーさんの力を發揮されるとと思いま



「スライムづくり」のコ

～高校生も地域に貢献！～

「スライムづくり」のコーナーでは、上士幌高校の照井教諭と、そのサポートとして上士幌高校の生徒四名がコーナーを担当しました。スライムづくりは毎年人気ですが、三十分間という決められた時間の中で、いくつもの工程を経るために大変な作業の連続です。

そんな中、高校生たちは子どもたちへ細かな説明をしたり、遅れている子のサポートをするなど、大活躍でした。

高校生たちの素直で優しい対応は、参加した子どもたちにも伝わったことと思います。



町民文化祭に展示された絵手紙作品の数々

「下手でいい、下手がいい」をモットーに、現在は、二交代から六十年代の十名で活動（第三水曜日、生涯学習センター）していますので、興味のある方は、馬場（二・二九〇四）までご連絡下さい。

（代表 馬場 美子）

歌声を通してみんな笑顔に コーラス「はなみづき」

また、自分たちのサークル、だけで合唱を楽しむのではなく、もっとと広いつながりの中で楽しみを共有したいと思い、「合唱のつどい」では、例年上士幌中学校と上士幌高校の吹奏楽部、浦幌サロンコーラスの皆さんに賛助出演を頂いています。五回目を迎える今年は、ナイタイ高原太鼓「響」の皆さんにも出演を頂き、会員十七名で盛り上げたいと思っています。

私達の活動には、年齢を問わず誰でも加入できますので、皆さんも是非一度足を運んでみて下さい。興味を持たれた方は、竹丸（二・二五六二）までご連絡下さい。

（会長 竹丸 雅子）

気軽に芸術にふれる機会を 絵手紙サークルどんぐり会

平成六年に、郵便局主催の絵手紙教室が開かれ、その後三十三名でスタートしました。主な活動は、月一回の例会のほか、町民文化祭への出展、一人暮らしの高齢者宛の年賀状（ふれあい郵便）の制作、元気びんびん教室での絵手紙講座等です。今年は、教育委員会の「わくわくチャレンジ工作教室」や「生涯学習ラリー」で、小学生に絵手紙を教える機会がありました。画仙紙ハガキに、野菜や果物等を大きく描き、彩色し、短い言葉を入れ、朱色の印を押して仕上げます。子ども達には、書いたものは必ず出して下さないとお願いしました。受け取った方が喜んでくれると、より嬉しいものです。

例会では、毎月のテーマを決め、モチーフを持ち寄り描き始めますが、言葉がなかなか浮かびません。そんな時は、出す相手に話しかけるような言葉づかいにすると、スラスラ出できます。



昨年の開町80周年記念式典

毎週火曜日、午後七時から九時まで生涯学習センターで練習しています。メンバーは皆、大きな声で歌うことで爽快感に浸っています。もちろん、リフレッシュを兼ねて、毎回あります。という間の二時間です。また、唄う曲目も、徐々に広げています。

役員は、会長、会計の他に衣装係、会場係に加え、「のど」を大切にする「のど係」もあり、メンバーの健康管理に気を使っています。私たちの主な活動内容は、例年実施している「合唱のつどい」や毎週の練習に加え、十勝芸術祭、帯広合唱祭などに出演することです。昨年は、開町八十周年記念式典で、エーデルシルバーコーラスの皆さんと、町歌の齊唱も行いました。

五年前、教育委員会主催による「合唱教室」がきっかけとなり、当時十六名で結成しました。例年行っている「合唱のつどい」は、今年は十一月二十五日（日）午後二時から開催する運びとなりました。

私流の生涯学習

還暦を過ぎて

齋藤 美恵子さん



町民バレー大会で、一番前が齋藤さん

私がバレーボールの出会いは、中学校、高校の部活動でした。その後、結婚を機に上士幌同好会として結成されていたママさんチームに入会しました。昭和四十八年のことです。出産のため一時期休みましたが、四十年近く続けています。

全盛期には全道親善大会で優勝したこともあります。又、十勝管内の各町村大会のみならず、富良野大会にも参加しました。順位は別として、皆と楽しくプレーが出来た満足感と和気あいあいの反省会の思い出が、走馬灯のように思えます。

現在は、高年齢化でシニアアチ
ムの年代層になりました。週二回

私が楽しんでいるのは、百人一首の下の句だけを読んでいく「下の句カルタ」です。上士幌に来た頃はカルタの愛好会もあり盛んに活動をしていましたが、今は、下の句カルタの楽しさを伝えたくて、町の子どもと一緒に楽しんでいます。

私はバレーボールの練習日も私たちだけでは人数が足りず、一般の方々と一緒に樂しく練習しています。

今年の町民バレーボール大会は六チームの参加協力があり、開催されました。大会に参加された方にも楽しかったと喜んで頂けました。

還暦を過ぎてもバレーボールを続けていけるのは、何より健康だからだと思います。これからも、自分なりに体力が続く限り、楽しく続けて行きたいと思います。

冬季(水・金)、夏季(月・木)スポーツセンターで活動していますので、興味のある方は、私たちと一緒に身体を動かして、心地よい汗を流してみませんか。

心地よい汗を流してみませんか。

（根本 広実）



これからの季節は、やっぱりカルタ！

霜山 和良さん



子ども達のために札を読む霜山さん

私がカルタを始めたのは、芽登に住んでいた四十年前でし
た。当時は、今のようにパソコンはもちろん、テレビすらも無い時代でそんな中、「みんなで楽しんでやっているから」と友達や先輩に誘われたのが、四十年前のことでした。

私が楽しんでいるのは、百人一首の下の句だけを読んでいく「下の句カルタ」です。上士幌に来た頃はカルタの愛好会もあり盛んに活動をしていましたが、今は、下の句カルタの楽しさを伝えたくて、町の子どもと一緒に楽しんでいます。

今は、学童保育所を会場に、隔週の月曜日に、小学生、中学生と一緒に楽しんでいます。また、教育委員会主催のカルタ教室や、来年で四十回を迎える「かみつ子カルタ大会」では審判をしながら、子どもと一緒に楽しんでいます。

子どもたちはみんな楽しんでやつているので上達が早いです。札を取れた時の悔しがる顔、元気に「ハイ！」と叫びながら札を取りに行く姿を見ていると、こちらも嬉しくなります。

私は、今年の町民バレーボール大会は六チームの参加協力があり、開催されました。大会に参加された方にも楽しかったと喜んで頂けました。

今年の町民バレーボール大会は六チームの参加協力があり、開催されました。大会に参加された方にも楽しかったと喜んで頂けました。

この他にも、町内の主要道路の各所にある北海道のマンホールは赤レンガや道章を施している他、NTTや北電のマンホールも数多くあります。

日ごろ、まちなかで見過ごしがちなのが、「マンホール」。でも、ちょっと目を向けると楽しいものです。町内の様々なところにマンホールがありますが、雨などで滑らないよう、蓋はデコボコのデザインになっています。

現在は、多くの自治体がその地の名所やキャラクターなどをデザインしていますが、上士幌はもちろん熱氣球のまちとして、熱気球のデザインとなっています。特に商店街通りのマンホールはカラーバリエーションで、歩道に合わせ、バスケットトにはシマリスが搭乗しています。

この他にも、町内の主要道路の各所にある北海道のマンホールは赤レンガや道章を施している他、NTTや北電のマンホールも数多くあります。

さあ、皆さんも雪が降る前にちゃんとまだと思います。これからも、自分なりに体力が続く限り、楽しめます。

さあ、皆さんも雪が降る前にちゃんとまだと思います。これからも、自分なりに体力が続く限り、楽しめます。

さあ、皆さんも雪が降る前にちゃんとまだと思います。これからも、自分なりに体力が続く限り、楽しめます。

さあ、皆さんも雪が降る前にちゃんとまだと思います。これからも、自分なりに体力が続く限り、楽しめます。

さあ、皆さんも雪が降る前にちゃんとまだと思います。これからも、自分なりに体力が続く限り、楽しめます。

情報委員の おすすめスポット

おすすめスポット